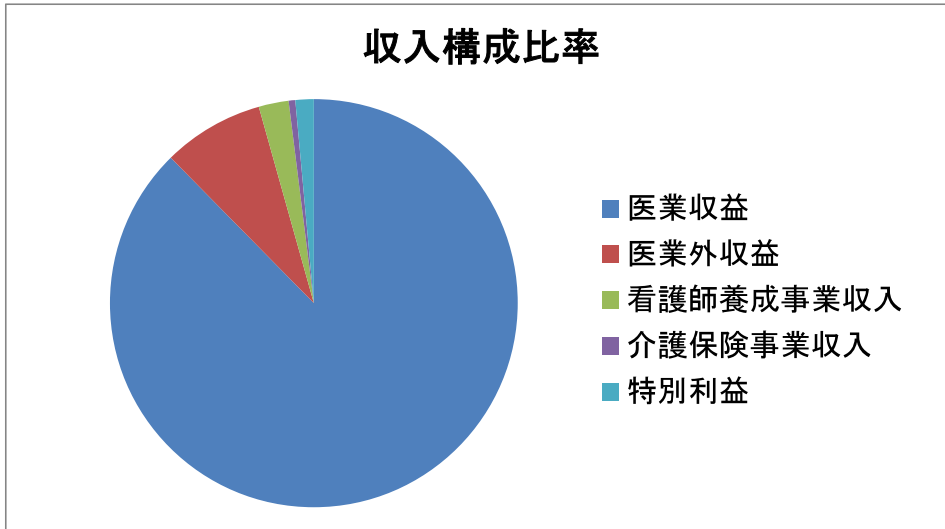


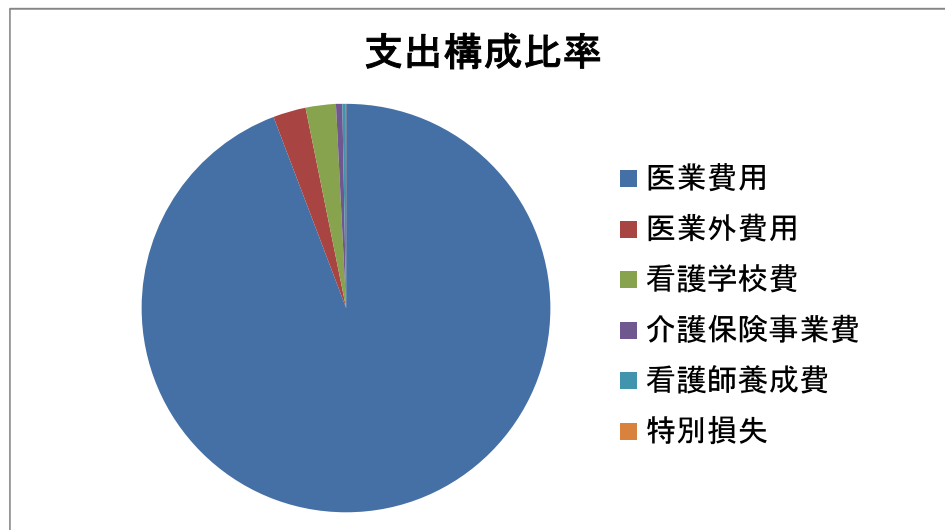
香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院事業会計

平成24年度決算状況



収入 (単位:円)

項目	決算額	構成比
医業収益	2,876,616,551	87.6%
医業外収益	263,731,690	8.0%
看護師養成事業収入	77,383,263	2.4%
介護保険事業収入	18,116,718	0.6%
特別利益	47,195,691	1.4%
合計	3,283,043,913	100.0%



支出 (単位:円)

項目	決算額	構成比
医業費用	3,048,823,945	94.2%
医業外費用	83,741,610	2.6%
看護学校費	77,264,749	2.4%
介護保険事業費	16,657,090	0.5%
看護師養成費	8,640,000	0.3%
特別損失	703,020	0.0%
合計	3,235,830,414	100.0%

※各表の計数は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院の経営状況

現在の組合立国保小見川総合病院の状況について、市民、町民の皆さんにお知らせいたします。

■業務の状況

平成 24 年度の患者数の状況は、入院延患者数が 3 万 2,548 人となり前年度と比較して 1,898 人減少し、1 日平均の入院患者数は、4.9 人減の 89.2 人となりました。

また、外来延患者数は、11 万 1,892 人となり前年度と比較して 1 万 178 人増加し、1 日平均の外来患者数では、456.7 人となりました

■決算の状況

平成 24 年度の病院総事業収支は、4,721 万 3,499 円の純利益となりました。

収入における医業収益は、前年度と比較して 2.6%増の 28 億 7,661 万 6,551 円となり、総事業収益では、1.8%増の 32 億 8,304 万 3,913 円となりました。

なお、一方で支出における医業費用は、前年度と比較し 0.8%増の 30 億 4,882 万 3,945 円となり、総事業費用では、0.5%増の 32 億 3,583 万 414 円となりました。

収益では、主に入院収益の増収、構成市町からの繰入金及び県補助金、特別利益の計上などが挙げられます。

費用では、主に非常勤医師を増員したことによる人件費の増額や医療機器のリース等に要した賃借料の増額が経費の増加につながりました。

■事業の状況

平成 24 年度の施設整備事業においては、4,640 万円の資金を投資し手術室の環境改善対策（第 I 期）工事を実施しました。また、医療機器整備事業では、電動ベッド 10 台、透析用チェアベッド、一般 X 線撮影装置、デジタル X 線 TV システムを整え地域住民の健康保持や福祉増進に対して、高度で安定した医療を提供していきます。

■公的資金補償金免除繰上償還に係る公営企業経営健全化計画

平成 19 年度より、国の公債費負担対策の一環として、地方財政法等関係法令の一部が改正され行財政改革を計画的かつ効率的に進める地方公共団体において、既に借り入れた地方債のうち、年利 5%以上のものについて繰上償還（借換え）が可能となりました。

当病院組合においても経営健全化を進めていくことを踏まえ、繰上償還に係る所要の公営企業健全化計画などをとりまとめ、国の承認を経て平成 24 年度に繰上償還を行いましたので、その概要を公表します。

- 策定した計画名

国保小見川総合病院延長経営健全化計画

- 計画期間

平成 24 年度から平成 28 年度までの5か年間

- 繰上償還許可内容等

① 年利 5%以上 6%未満の地方債 204,510 千円

② 年利 6%以上 6.3%未満の地方債 122,556 千円

繰上償還することで発生する補償金は、8,100 万円ですが計画の策定により免除されました。

- 借換えによる効果

借換債を発行することにより、8,328 万円の利息を軽減できました。

- 経営課題

① 現在の常勤医師数を確保し、非常勤医師の増員に努め多くの地域住民に対して医療の提供を行う。

② 急性期医療が主体となって短期入院患者が増加していることに対して看護体制を整備し入院患者の増加対策を講じることはもとより、更なる経営の効率化と経営基盤の強化を図る。